

町の予算を家庭に例えると....

町の一般会計の全体像を分かりやすくするため、1/1,000 (1千万円を1万円)で試算してみました。

●収入	金額	構成比
給与(町税)	168万円	28.7%
親からの援助(地方交付税など)	277万円	47.3%
預貯金等の取り崩し(繰越金、繰入金)	33万円	5.7%
パート収入(財産収入など)	35万円	6.0%
金融機関からの借り入れ(町債)	72万円	12.3%
合計	585万円	100%

◆支出	金額	構成比
食費(人件費)	97万円	16.6%
光熱水費などの生活費(物件費、補助費等)	155万円	26.5%
医療費など(扶助費)	66万円	11.3%
子どもたちへの仕送り(繰出金)	79万円	13.5%
車の修繕費(維持補修費)	7万円	1.2%
リフォーム費(投資的経費)	108万円	18.5%
貯金(積立金)	21万円	3.6%
ローン返済(公債費)	52万円	8.8%
合計	585万円	100%

収入は、親からの援助などが大きく、支出では光熱水費などの生活費(公共施設の整備や維持管理などに関するもの)が大きくなっています。

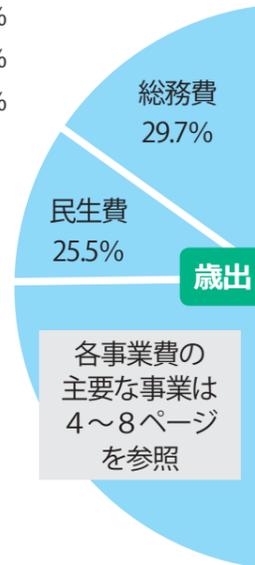
2019年度 一般会計予算

58億5,100万円

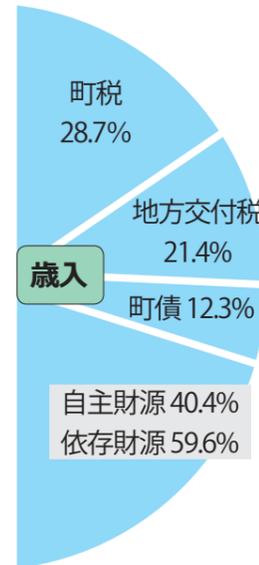
名称・予算額(前年度当初比)・構成比
※万円未満四捨五入のため、合計等が合わない場合があります

総務費	17億3,609万円(11.2%増)	29.7%
民生費	14億8,909万円(4.7%増)	25.5%
土木費	7億2,596万円(73.5%増)	12.4%
公債費	5億1,677万円(0.4%減)	8.8%
教育費	4億751万円(1.0%減)	7.0%
衛生費	3億5,746万円(1.5%減)	6.1%
消防費	2億9,814万円(0.2%減)	5.1%
農林水産業費	1億8,538万円(14.3%増)	3.2%
議会費	8,564万円(2.6%減)	1.5%
商工費	4,385万円(1.1%減)	0.7%
その他	511万円(0.1%減)	0.1%

※予備費、労働費、災害復旧費、諸支出金



各事業費の
主要な事業は
4~8ページ
を参照



町税	16億7,690万円(0.6%減)	28.7%
地方交付税	12億5,000万円(4.6%増)	21.4%
町債	7億2,050万円(22.3%減)	12.3%
県支出金	6億17万円(105.9%増)	10.3%
国庫支出金	4億8,832万円(15.3%増)	8.3%
繰入金	2億7,510万円(165.8%増)	4.7%
分担金及び負担金	2億3,036万円(535.2%増)	3.9%
地方消費税交付金	2億2,800万円(4.6%増)	3.9%
ゴルフ場利用税交付金	8,700万円(5.9%減)	1.5%
地方譲与税	6,479万円(1.8%減)	1.1%
その他	2億2,986万円(9.0%減)	3.9%

※諸収入、繰越金、財産収入など

歳入 町税は、人口減少・高齢化などにより、前年度当初比で10億14万円(0.6%減)の16億7690万円を見込みました。

歳入 町税は、人口減少・高齢化などにより、前年度当初比で10億14万円(0.6%減)の16億7690万円を見込みました。

歳出 総務費は、泉井交流体験エリアや上熊井農産物直売所などの整備工事の実施などにより、前年度当初比1億7503万円(11.2%増)の17億3609万円を計上しました。

土木費は、県道岩殿・岩井線改良事業や町道2764号線法面保護工事の実施などにより、前年度当初比3億752万円(73.5%増)の7億2596万円を計上しました。

町では、人口減少や超高齢社会へ対応しながら、町の継続的な活性化を図るために、2018年度に引き続き、「将来の町の活性化につながる施策に戦略的に取り組む」「社会構造の変化等に対応する施策に包括的に取り組む」を基本方針として予算を編成しました。

2019年度一般会計当初予算の総額は、前年度当初比で5億5800万円(10.5%増)の58億5100万円となりました。予算編成にあたっては、町の活性化等のための事業の財源の一部として、各種基金を活用しました。



鳩山町議会 3月定例会において、2019年度(平成31年度)一般会計当初予算や特別会計予算が可決されました。1年間の行政運営の基礎となる予算。今月号では、その概要をお伝えします。

■問合せ 役場政策財政課 ☎ 296-1212

農業集落排水事業

農業振興地域で、農業用水の水質保全及び農業集落の生活環境の改善等を目指す事業です。現在、大橋、泉井、赤沼地区の一部で供用しています。歳入の約7割は一般会計からの繰入金で、歳出は施設管理や公債費などに支出されています。

歳入	3,519万円
歳出	(前年度当初比 307万円減・8.0%減)

浄化槽設置管理事業

公共下水道・農業集落排水の事業区域外で浄化槽の設置等を行い、公共用水域の水質汚濁防止に努める事業です。歳入の約4割を、町債や国・県から交付される補助金が占め、歳出は施設整備費や施設管理費などに支出されています。

歳入	3,267万円
歳出	(前年度当初比 207万円増・6.8%増)

今宿東土地区画整理事業

今宿・赤沼地内で幹線道路等の公共施設整備と良好な住宅地の整備を行う事業です。歳入の約7割を一般会計からの繰入金、約3割を町債が占め、歳出は換地処分等の業務を行う事業費や公債費などに支出されています。

歳入	1億2,479万円
歳出	(前年度当初比 533万円減・4.1%減)

後期高齢者医療事業

75歳(一定の障がいがある方は65歳)以上の方に医療給付を行う事業です。運営は県内全市町村が加入している埼玉県後期高齢者医療広域連合が行っています。歳入の約8割は保険料が占め、歳出のほとんどを広域連合に納付しています。

歳入	2億3,601万円
歳出	(前年度当初比 740万円増・3.2%増)

国民健康保険事業

国民健康保険に加入している人が病気やけがで診療等を受けたとき、医療費の一部を負担します。歳入は保険料が約2割、県補助金が約7割を占めます。歳出の約7割を療養の給付や高額医療費、出産育児一時金などの保険給付が占めています。

歳入	19億6,907万円
歳出	(前年度当初比 3,539万円減・1.8%減)

介護保険事業

40歳以上の方が保険料を納め、介護や支援が必要となった時に、介護サービスや介護予防サービスなどを受ける制度です。歳入の約5割は保険料が占め、歳出の9割以上が介護サービス等の保険給付費として支出されます。

歳入	11億7,530万円
歳出	(前年度当初比 3,049万円増・2.7%増)

特別会計・公営企業会計

特定の事業のために使うお金の会計

水道事業

町内全域を給水区域として、安心して安全な水道水を供給する事業です。水道事業は、水道料金などを計上する事業収益と、施設整備や維持管理経費などを計上する資本的収益の2つがあります。

〔収益的〕

収入	2億9,506万円
	(前年度当初比 325万円減・1.1%減)
支出	2億8,501万円
	(前年度当初比 488万円増・1.7%増)

〔資本的〕

収入	40万円
	(前年度当初比 2,476万円減・98.4%減)
支出	8,886万円
	(前年度当初比 1,642万円増・22.7%増)

予算編成方針等に基づく主な事業

2019年度 町の重点的事業

2019年度予算編成方針では、限られた歳入の中で、重点的に取り組む事業を選定しました。

最重要事業として、「(仮称)鳩山新ごみ焼却施設整備と連携して実施する北部地域活性化事業」と「ニュータウン地域再生・創造事業」に引き続き全力で取り組むこととしました。また、第5次総合計画、まち・ひと・しごと創生総合戦略などに位置づけられた事業のうち、補助事業かつ具体的成果が得られる事業を優先採択しました。

このページでは、これらの重点的事業について、2019年度予算措置事業からその動向を見ていきます。(金額は万円未満四捨五入。★印は新規事業)

【総務費】

- ★町道第2859号線(松ヶ丘地内)ほか歩道整備(バリアフリー化)工事 7,000万円
- ★都市再生整備計画事後評価業務委託料 370万円
- ★(仮称)はとやま移住・定住マルシェ開催業務委託料 80万円
- ◇コミュニティ・マルシェ管理運営業務委託料(指定管理者代行料) 382万円
- 【民生費】
- ◇支え合いまちづくり推進事業(ニュータウンふくしプラザ運営事業)委託料 661万円
- ◇地域包括ケアセンター運営経費(管理業務・機械警備業務等委託料) 169万円
- ◇のびのびプラザ管理業務委託料 237万円



★町道第2859号線(松ヶ丘地内)ほか歩道整備(バリアフリー化)工事



★(仮称)はとやま移住・定住マルシェ開催業務委託料



ニュータウン地域再生・創造事業

ニュータウン地区では、地域包括ケアセンターの整備や多世代活動交流センターの耐震改修などを行いました。これらは、社会資本整備総合交付金を活用して実施している「都市再生整備計画」に基づく事業のため、計画の最終年度となる2019年度は、事業評価を行います。高齢者だけの世帯も増えているニュータウン地区では、地域の支え合いを広げる必要があり、ニュータウン地区では、上熊井農産物直売所の整備工事が始まります。各地区の集落センターは、地域住民の多世代交流、地域福祉運営等の機能を有する施設として整備します。交通網整備では、泉井・上熊井両地区内道路の改良工事や、改良工事に向けた用地測量などを行います。また、町営路線バス(上熊井・高坂駅)は、越生駅東口までの延伸を年度内に目指しながら、引き続き運行します。なお、北部地域活性化事業は、「(仮称)鳩山新ごみ焼却施設」建設に伴う地元対策費、国庫補助金、特別交付税などを事業財源として活用しています。

【総務費】

- ◇泉井集落センター改築関連(工事監理業務、整備工事) 2億2,486万円
- ◇上熊井集落センター整備関連(土地鑑定手数料、用地事務代行業務、工事監理業務、整備工事、用地買収費) 1億56万円
- ◇上熊井農産物直売所整備関連(工事監理業務、整備工事) 2億6,964万円
- ◇鳩山町地域公共交通会議(町営路線バス運行経費) 5,916万円
- ◇町道第1号線(泉井地内)整備関連(実施設計業務、改良工事) 4,050万円
- ◇町道第52号線(熊井地内)ほか改良工事に伴う用地測量等業務委託料 1,200万円
- ◇町道第56号線(泉井地内)ほか整備関連(用地事務代行業務、物件等移転補償など) 829万円
- ◇町道第495号線(熊井地内)改良工事 6,000万円



北部地域活性化事業

人口減少と少子高齢化、農地の遊休地化などが進む北部地域では、「(仮称)鳩山新ごみ焼却施設」の整備と一体的に活性化事業に取り組む必要があります。町では北部地域活性化基本条例を制定し、推進地区である泉井・上熊井両地区の皆さんとともに活性化取組方針を策定しました。その取組方針に位置付けた活性化事業の実現に向け、着実な歩みを進めています。2019年度は、泉井集落センターと上熊井集落センター、上熊井農産物直売所の整備工事が始まります。各地区の集落センターは、地域住民の多世代交流、地域福祉運営等の機能を有する施設として整備します。交通網整備では、泉井・上熊井両地区内道路の改良工事や、改良工事に向けた用地測量などを行います。また、町営路線バス(上熊井・高坂駅)は、越生駅東口までの延伸を年度内に目指しながら、引き続き運行します。なお、北部地域活性化事業は、「(仮称)鳩山新ごみ焼却施設」建設に伴う地元対策費、国庫補助金、特別交付税などを事業財源として活用しています。

地域福祉

- 【民生費】
- ★総合相談支援事業委託料 1,544万円
- 親の介護と子(孫)育てを同時に行う世帯、高齢の親と無職独身の子ども世帯など、複合的な問題を抱える人へ包括的支援を行うため、総合福祉センター内で総合相談支援事業を実施します。(センターの利用案内は12ページを参照)
- 事業は、町社会福祉協議会へ委託し、専任職員が相談業務に対応していきます。また、施設を活用し、常設のサロンやイベント等を開催して、ひきこもりがちな人を集め、相談業務や介護予防につなげます。
- ◇地域見守り支援ネットワーク事業(民生委員活動費補助金など) 357万円

健康づくり

- 【衛生費】
- ◇健康マイレージ事業経費 88万円
- 「埼玉県コバトン健康マイレージ事業」へ参加し、健康無関心層や働く世代など、多くの世代の健康づくりを推進します。専用の歩数計やスマートフォンアプリで、歩数に応じたポイントが獲得でき、ポイントに応じて抽選で賞品が当たります。
- ★はとやま健康21プランアンケート調査業務委託料 83万円
- 町民の健康づくり及び食育に関する生活の実態や意識等を把握することにより、鳩山町健康増進計画「はとやま健康21プラン」及び「鳩山町食育推進計画」を改定する基礎資料とするため、アンケート調査を行います。



子育て支援

- 【衛生費】
- ◇子育て世代包括支援センター母子保健型事業経費 305万円
- 妊娠期から子育て期にわたるまでの母子保健や育児に関する様々な悩み事に円滑に対応するため、保健師などが専門的な見地から相談支援などを実施し、切れ目のない支援体制を構築します。
- 【民生費】
- ◇つどいの広場運営事業費補助金 400万円
- 就学前の児童を持つ保護者が、地域で気軽に親子で参加できる子育て支援拠点施設「つどいの広場(ぼっぼ)」において、育児不安の解消や保護者の社会参加を促進するための事業などを実施します。



公共交通

- 【総務費】
- ◇鳩山町地域公共交通会議負担金
- ・町営路線バス運行経費分(再掲) 5,916万円
- ・町内循環バス運行経費分 1,220万円
- ・デマンドタクシー運行経費分 1,545万円
- 町営路線バスは、観光客とも共存する地域間交通ネットワークの形成に向け、利用者の動向調査、自治体間における調整、関係する交通事業者の合意の円滑化を図るため、「地域間幹線バス実証運行事業」を実施します。また、地域間連携により里山の自然や歴史文化に根差した資源を掘り起し、観光客の誘導に結び付けるためのワークショップを実施します。
- また、町内循環バスとデマンドタクシーを2019年度も引き続き運行します。

2019年度 町の**主要事業**(事業費別)

6～8ページでは、2019年度の主要事業を事業費別体系でお知らせします。
(金額は万円未満四捨五入。★印は新規事業)

土木費 7億2,596万円

道路や河川、橋りょう、公園などの整備や維持管理に充てる予算です。

道路・橋りょう・河川		◇橋りょう定期点検業務委託料	700万円
★町道第2764号線(石坂地内)法面保護工事	5,000万円	◇町内橋りょう長寿命化修繕工事	4,550万円
★橋りょう長寿命化修繕計画策定業務委託料	600万円	◇準用河川堤防等除草業務委託料	282万円
◇道路台帳整備業務委託料	270万円	公園・土地区画整理など	
◇県道改良工事に伴う用地取得事業経費(用地取得業務、物件等移補償など)	2億3,621万円	★おしゃもじ山公園植栽管理業務委託料	42万円
◇町道管理業務委託料	1,408万円	◇おしゃもじ山公園管理業務委託料	87万円
◇町道維持補修業務委託料	394万円	◇ニュータウン内公園・緑地管理業務委託料	2,208万円
◇町道第4号線(須江地内)ほか道路舗装修繕工事	1,000万円	◇親水公園植栽・芝生管理業務委託料	121万円
◇町内全域町道舗装修繕工事	250万円	◇今宿地区ほか都市公園等清掃・植栽管理業務委託料	327万円
◇交通安全対策工事	315万円	◇公園内LED灯交換工事	59万円
◇入西赤沼線橋りょう整備工事負担金	2,838万円	◇今宿東土地区画整理事業特別会計繰出金	8,928万円

教育費 4億751万円

教育施設に関する経費、文化事業やスポーツ振興、生涯学習施設などに係る経費に充てる予算です。

学校・幼稚園管理		◇中学校学力検査業務委託料	66万円
★鳩山小学校職員室空調設備改修工事	51万円	◇鳩山幼稚園預かり保育事業(賃金)	66万円
★鳩山中学校電気設備改修工事	92万円	◇幼稚園就園奨励費補助金	388万円
★鳩山幼稚園プール購入費	17万円	生涯教育・文化財保護・生涯スポーツなど	
◇小・中学校少人数指導学習支援事業(賃金)	854万円	★中央公民館電気設備改修工事	159万円
◇小学校学習支援事業(賃金)	486万円	★遺跡地内立木伐採等業務委託料	30万円
◇小学校英語講師(賃金)	116万円	◇図書館図書資料費	300万円
◇スクールソーシャルワーカー(賃金)	41万円	◇図書館視聴覚資料費	27万円
◇亀井小学校スクールバス運行経費	139万円	◇子ども大学はとやま実行委員会補助金	7万円
◇教育用パソコン借上料(小学校3校分)	540万円	◇レクリエーション施設利用補助金	12万円
◇中学校ボランティア相談員報償	51万円	◇鳩山町体育協会補助金	164万円
◇中学校教務・教育用パソコン借上料	551万円	◇鳩山町スポーツ少年団本部補助金	74万円
◇中学校英会話指導業務委託料	395万円		

衛生費 3億5,746万円

住民が健康で衛生的な生活環境を保持するための予算です。

健康・予防・母子保健など		環境衛生	
◇健康診査委託料	1,271万円	★毛呂山・越生・鳩山公共下水道組合(計画策定分)負担金	200万円
◇定期予防接種委託料	2,213万円	◇鳩川等水質検査委託料	114万円
◇妊婦健康診査委託料	397万円	◇太陽電池発電所設備保安管理業務委託料	34万円
		◇浄化槽設置管理事業特別会計繰出金	466万円



総務費 17億3,609万円

町の全般的な事務経費のための予算です。

コミュニティ推進・防犯・交通など		◇広報はとやま印刷製本費	327万円
★鳩山町コミュニティ施設特別整備事業補助金	217万円	課税・収税	
コミュニティ活動の振興を図るため、地域住民の集いの場や身近な生活環境施設などの整備費を補助します。		★評価替え標準宅地等鑑定手数料	454万円
◇今宿コミュニティセンター管理代行料	695万円	★電子申告システム更改業務委託料	151万円
◇ふれあいセンター・梅沢集会所管理代行料	894万円	◇固定資産評価資料作成業務委託料	327万円
◇タウンセンター管理業務委託料	132万円	◇コンビニ収納システム使用料	164万円
◇タウンセンター施設管理費負担金	675万円	戸籍等管理	
◇納涼夏まつり補助金	300万円	★戸籍副本データ管理システム更改業務委託料	202万円
◇防犯対策経費(防犯灯管理・補修等、LED防犯灯設置・交換)	1,527万円	◇住民基本台帳ネットワーク運用等経費	165万円
		◇戸籍総合システム運用等経費	442万円
地方創生		◇個人番号カード等交付事業交付金	141万円
★石坂の森駐車場進入路整備工事	80万円	選挙・統計	
◇ふるさと納税寄附返礼品業務委託料	283万円	★参議院議員選挙費	764万円
財産・電算管理・政策総務など		★県知事選挙費	650万円
★庁舎電気設備改修工事	347万円	◇県議会議員選挙費	399万円
◇公会計システム財務書類作成業務委託料	173万円	◇町議会議員選挙費	771万円
		◇基幹統計調査費	229万円

民生費 14億8,909万円

住民に対して一定の水準の生活と安定した社会生活を保障するための予算です。

高齢者支援		◇介護・特例介護等給付費負担金	2億1,260万円
★高齢者実態調査業務委託料	187万円	障がい者の日常生活や社会生活を支援するため、ホームヘルプサービスや就労系サービスなどを実施します。	
「第8期鳩山町高齢者福祉総合計画(高齢者福祉計画・介護保険事業計画)」策定に向けて基礎資料とするため、一般高齢者・要介護(要支援)者へ実態調査を行います。		◇重度心身障害者医療費	3,318万円
★地域密着型サービス等整備助成事業補助金	3,200万円	◇在宅重度心身障害者手当	690万円
民間事業者が町内に整備する介護保険事業所の費用を県の補助金を使って助成します。		◇障がい者就労支援センター負担金	147万円
★介護施設等の施設開設準備経費等支援事業	480万円	子育て支援	
◇シルバー人材センター補助金	530万円	◇放課後児童健全育成事業業務委託料	4,302万円
◇後期高齢者医療広域連合負担金	1億9,160万円	◇特定教育・保育施設等事業費補助金	2,963万円
◇後期高齢者医療特別会計繰出金	3,461万円	◇こども医療費	3,006万円
社会福祉・社会福祉施設		◇保育児童委託料	1億9,391万円
◇社会福祉協議会補助金	2,808万円	◇児童手当	1億3,314万円
◇総合福祉センター管理代行料	900万円	◇子ども・子育て支援給付負担金	619万円
障がい者福祉		その他	
★障がい者福祉計画アンケート調査入力等業務委託料	146万円	◇国民健康保険特別会計繰出金	9,350万円
		◇介護保険特別会計繰出金	1億6,312万円



町の財政状況

このページでは、町の基金(預金)と町債(借金)の状況をお知らせします。



■主な基金(現金)の過去5年の推移(一般会計)

主な基金	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度(見込み)
財政調整基金	2億9,351万円	2億6,252万円	2億4,799万円	2億1,199万円	1億5,567万円
ふるさとづくり基金(現金)	424万円	824万円	725万円	625万円	625万円
地域福祉基金	2,891万円	2,394万円	1,396万円	983万円	569万円
役場庁舎等改修基金	1,409万円	1,410万円	1,411万円	1,413万円	835万円
土地開発基金(現金)	310万円	310万円	310万円	310万円	310万円
北部地域活性化基金	7,150万円	4,260万円	3,069万円	1,607万円	982万円
まちづくり応援基金	523万円	880万円	910万円	1,374万円	1,176万円
合計	4億2,058万円	3億6,330万円	2億8,300万円	2億6,431万円	2億64万円

■町債および公債費の推移(一般会計)

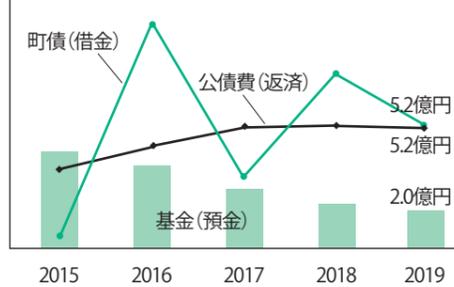
種別	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度(見込み)
町債	1億40万円	9億5,200万円	3億2,870万円	6億8,690万円	5億2,050万円
うち臨時財政対策債	2億5,000万円	2億3,000万円	2億3,000万円	2億4,000万円	2億円
公債費	3億5,502万円	4億3,050万円	4億8,974万円	5億1,903万円	5億1,677万円

※臨時財政対策債は、後年度の償還財源が地方交付税の基準財政需要額に全額算入されることとなるため、実質的な地方交付税となっています。



2019年度当初予算では、基金の取り崩しを極力抑えるよう努めましたが、町税の減少に加え、社会保障費等の増加に対応するための財源確保として、必要最低限の繰入金を計上しました。その結果、2019年度の基金全体の残高は、2018年度から約8,300万円減少する見込みです。

主な基金総額(現金)・町債・公債費の過去5年の推移(一般会計)



基金は預金にあたり、2019年度は、一般財源の不足分として、財政調整基金から約4,500万円を繰り入れる結果となりました。その他、地域福祉や北部地域活性化に関する事業へ、それぞれの基金から繰り入れを行います。

町債は、長期間使われる道路や公共施設の建設費など、複数の世代が負担すべきもので、多額の資金が必要ときに発行する借金です。その借金の返済にあたるのが歳出の公債費です。2019年度も北部地域活性化事業等の実施などに伴い、約

基金残高、将来の負担を踏まえ 中長期的な視点でまちづくり

人口減少・少子高齢化が急速に進む鳩山町では、時代の潮流を踏まえ、行政サービスの在り方を再構築するとともに、地域活性化により歳入を増やす努力をしなければなりません。さらに、「(仮称)鳩山新ごみ焼却施設」建設に伴う地元対策事業の一部を、町の予算において先行実施していることを加味した財政運営の展望も必要です。

今後は、5年程度の中期的な視点により、町の総合計画や地方創生総合戦略、公共施設等総合管理計画などを踏まえて、財政健全化を実現するためのまちづくりと行政運営に取り組んでいきます。

5億2,000万円の町債(臨時財政対策債を除く)を発行する予定です。

町では、今後も国や県からの補助事業を活用するなど、財源を補う町債の発行額を抑えるよう努力していきます。

**活力ある財政構造への
転換と財政基盤の強化へ**

農林水産業費 1億8,538万円

農業や林業などの振興を進めるための予算です。

- ★農業用ため池一斉点検調査業務委託料 60万円
- ★農業用ため池耐震性点検調査業務委託料 2,400万円
- 防災重点ため池の新基準適用により該当となる町内23か所のため池のうち、4か所を点検します。
- ◇上熊井農産物直売所運営検討会委員報償 8万円
- ◇新規就農者等支援委員報償 8万円
- ◇減農薬栽培等奨励事業補助金 159万円
- ◇多面的機能支援事業補助金 541万円
- 良好な農村環境の保全や農業施設の適正な維持管理を目的とした地域の共同活動を支援します。
- ◇農業集落排水事業特別会計繰出金 2,630万円

商工費 4,385万円

商工業や観光の振興など進めるための予算です。

- ◇小規模企業経営資金利子補給金補助金 190万円
- 町内小規模企業者の経営合理化などを促進するため、融資を受けた際の利子等の一部を補助します。
- ◇企業誘致奨励金 3,000万円
- (奥田地内に誘致した物流センターへ交付)
- ◇住宅リフォーム資金助成事業補助金 100万円
- ◇商工会補助金(つつじ祭含む) 445万円
- ◇はとやま祭実行委員会補助金 270万円

一部事務組合への負担金

町は、次の一部事務組合に加入し、その事務に必要な経費等を負担金として支出しています。

組合名	主な業務内容	当初予算額 ()内は前年度当初比
毛呂山・越生・鳩山 公共下水道組合 (土木費)	公共下水道の設置・管理などの事務	1億3,149万円 (1,014万円減)
西入間広域消防 組合(消防費)	消防や防火、救命活動などの事務	2億8,790万円 (421万円増)
広域静苑組合 (衛生費)	火葬場の設置や維持管理	900万円 (810万円減)
坂戸地区衛生組合 (衛生費)	し尿の収集や運搬、処理	2,545万円 (35万円増)
埼玉西部環境保全 組合(衛生費)	ごみ・資源の収集や運搬、処理	1億9,859万円 (135万円減)

公債費 5億1,677万円

過去に借り入れた地方債やその利子を返済するための予算です。

- ◇地方債元金償還金 4億7,418万円
- ◇地方債利子 4,179万円

消防費 2億9,814万円

消防や火災予防のほか、災害が生じた場合の被害を軽減するために行う活動に充てる予算です。

- ★防災行政無線(固定局)バッテリー交換等業務委託料 130万円
- ◇防災行政無線設備保守点検委託料 501万円
- ◇避難行動要支援者システム運用経費 83万円
- ◇自動体外式除細動器(AED)借上料 75万円
- ◇防災情報メール配信サービス使用料 85万円

議会費 8,564万円

町議会の運営費や議員報酬などに充てる予算です。

- ◇議会だより印刷製本費 104万円
- ◇会議録作成委託料 362万円
- ◇議会音声配信経費 43万円
- ◇会議録検索システム使用料 52万円

町議会議員からの要望への対応

2019年度予算編成に向けては、鳩山町議会議員7人から、延べ55項目の意見・要望がありました。そのうち、以下の項目について、2019年度予算に関連予算を計上しました。

- ◆町道52号線ほか(熊井・高野倉地区)の拡幅改修
- ◆町の活性化策
- ◆商工会活動への補助金
- ◆石坂の森駐車場入り口道路の改善
- ◆赤沼地区集落センターの改修
- ◆町立鳩山図書館の老朽化対策と資料の充実化
- ◆町文化会館の改修
- ◆今宿小学校の各教室の引き戸の修繕、敷地内のフェンスの修繕
- ◆鳩山中学校内の除草、大木処理
- ◆家庭教育学級の補助費